

年金だより

物価スライド四%

※年金額の

物価スライド

保険料を積み立てる拠出制の年金額は、四パーセントの物価スライドが見込まれており、実施時期は本年度と同様に、昭和五十四年七月からとされています。

従来、年金額の物価スライドは、総理府において作成する年度平均の全国消費物価指数が五パーセントを超えて上下した場合に、この比率を基準として、翌年度の一月から年金額の改定を行うこととされています。しかし今回は特例として五パーセント以内でも年金額の改定を行うこととされています。さらに、改定の時期についても繰り上げて、七月から行うこととされています。

※福祉年金額の

引き上げ

福祉年金額の引き上げは、拠出年金の四パーセント増の見込みに對して、九パーセントの増が見込まれています。引き上げの時期も

本年度と同様に昭和五十四年八月からとされています。

この引き上げにより老齢福祉年金額は、一九八、〇〇〇円から二一六、〇〇〇円となります。

※所得制限の緩和

福祉年金の受給者本人、又は扶養義務者等の所得制限額が表のように緩和されることとなります。

改正法案のあらまし (案)

項 目	改 正 前	改 正 後	実施月
【拠出年金】			
1 年金額のスライド 4% (見込)			
(1) 老齢年金			
ア モデル年金 (25年)	年額 455,100円	年額 473,300円	54. 7
イ 10年年金	年額 287,100円	年額 298,600円	"
ウ 5年年金	年額 210,100円	年額 218,500円	"
(2) 障害年金			
ア 1級	年額 577,600円	年額 600,800円	"
イ 2級	年額 462,100円	年額 480,600円	"
(3) 母子、準母子、 遺児年金	年額 462,100円	年額 480,600円	"
2 保険料額			
	月額 2,730円	月額 3,300円	54. 4
	月額 3,300円	月額 3,790円	55. 4
		(9,650円×スライド率4%)	
【福祉年金】			
1 年金額の引上げ			
(1) 老齢福祉年金	年額 198,000円	年額 216,000円	54. 8
(2) 障害福祉年金			
ア 1級	年額 297,600円	年額 324,000円	"
イ 2級	年額 198,000円	年額 216,000円	"
(3) 母子、準母子福 祉年金	年額 258,000円	年額 280,800円	"
2 所得制限の緩和			
(1) 本人所得制限額 (老齢・障害)	夫婦収入 200.2万円	夫婦収入 208万円	54. 8
(母子・準母子)	334万円	347万円	"
(2) 扶養義務者等所 得制限額	6人世帯収入876万円	6人世帯収入876万円 (据置)	54. 8
3 公的年金との併給 制限の緩和	37万円	41万円	54. 8

※四月から保険料

三、三〇〇円

昔、アメ玉年金などと言われ、そっぽを向かれていた年金も、今では生活費のたしに老後のレジャーにと、老後の生活に年金は欠くことのできないものと変わってきました。

このように支払われている年金の資金は、私達が毎月納めている保険料と、国の負担によってまかなわれていますが、生活に役立つ年金を受けるためには、やはりそれなりの保険料を積み立てていかなければなりません。そのため、今年の四月からは保険料が一月三、三〇〇円となります。

国民年金制度が健全に発展して

いくためには、今後も段階的に保険料の引き上げが予定されています。

しかし、私達一人一人の年金ですの、保険料は決められた期日までにきちんと納めるようにしてください。

※保険料の前納

保険料が高額化してくるにつれ、みなさんも大変でしょう。そこで耳寄りな話しを一つお教えします。

それは保険料の前納制度です。この前納制度を利用いたしますと、年、五分五厘の利率で、保険料が割引かれます。

また、一年間前納することにより、保険料の納め忘れがなくなります。

※電気の効率的な使い方

電気の豆知識

ますので、それこそ一石二鳥です。五十四年度分保険料を前納したい方は、四月末日までに年金係までお申し込みください。

不要時の電灯をこまめに消したり、テレビのつけっぱなしをやめたり、冷暖房のききすぎを調整するなど使い方にきめ細かく気をくばることに、よって小さなようでもかなりの浪費の防止になります。

※電気器具の選び方

選び方

まずカタログによってその機器の性能を十分に確かめてください。不必要に大型の電気器具を選ばないこと。また同じ様な電気器具でも製品によって消費電力にかなり差のあるものがあるので、なるべく消費力の少ないものを選ぶのが効率的です。

例えば、大型冷蔵庫や全自動洗たく機など少量の使用でも消費電力は少なくならないので電気のムダが多くなります。

電気器具は家族数にあったものを選ぶことも必要なことです。